



【きちかわ あきこ さん】梅ヶ丘

●目の不自由な方向けに図書を音訳し貸し出すボランティア活動を行っている。25年間にわたる長期間の活動が認められ、今年9月に朗読録音奉仕者全国表彰を受賞。

音訳ボランティアを通して 私も成長しています

書店ではたくさんさんの書籍が販売されています。千歳音訳友の会は、市販の書籍のほか、広報ちとせなどさまざまな図書を音訳し目の不自由な方に貸し出すボランティア活動を行っています。吉川さんはこの会の一員として音訳活動を続けています。

「子育てが終わり、何か自分にできるボランティアをしたいと思ってたときでした。読書が好きだったため趣味を活かすことができるこのボランティアをはじめました」とボランティアをはじめたきっかけを話します。障がいのある方のためのもと思っていたこのボランティアは、続けるうちに自分自身の成長につながっていることに気づいたそうです。

「音訳では、人名や地名の正確な読み方を辞書で調べるなどの下調べをして1文字ずつ正確に発音します。また、絵や図についての説明もつけ加えます」と知識の向上につながっているという吉川さん。

「音訳のときは雑音が入らないように気をつけます。聞く方に不快な思いをさせないように、わずかな雑音でも音訳をやりなおります」と日ごろの心がけを話します。

「音訳ボランティアは大変な作業ですが、録音図書がひとつ完成すると喜びがわいてきます。この喜びのおかげで25年間の長い間活動を続けることができました」と苦勞を苦と思わない熱い想いを語ります。

「音訳活動は、みんな協力して進めています。私は今回の受賞をみんなの代表として受けたものと考えています。まだ、音訳図書の存在を知らない目の不自由な方がいるようなので、もっと広めたいと考えています。また、音訳ボランティアを増やして活動をより活発にしていきたいですね」とやさしいまなざしで語ってくれました。



音訳する吉川さん

人のいる風景

SCENERY OF PEOPLE



吉川

AKIKO
KICHIKAWA

晃子

さん